

実りの多い2学期に —「独りではない」—

校長 山浦 麻紀



サルスベリ

花言葉・「雄弁・おしゃべりが得意」

街のあちらこちらで暑さをエネルギーとしているかのような「百日紅（サルスベリ）が白や紅色の花を咲かせている姿が印象的な夏でした。生徒のみなさんも同様に大汗を流しながらも一生懸命に部活動、ボランティア活動、家庭学習等に取り組んでくれました。地域の方々からも、気持ちの良いあいさつをはじめ、県大会や夏のコンクール、2学年の林間学校での皆さんの活躍について、たくさんのお褒めの言葉を頂きました。そのような中、日焼けした生徒の表情、まぶしい笑顔を見ると、この夏を乗り切ることで一段とたくましさが増したように感じられ嬉しくなります。

さて、2学期には文化祭・合唱祭・新人戦などの大きな学校行事が予定されています。この学校行事を経験することで岸中の生徒は大きく成長していきます。それが、「岸中らしさ」だと思います。

1学期で実施した体育祭や修学旅行・林間学校では、練習を通してクラスが一つになることの大変さと、成し遂げたときの充実感、他の生徒を思いやる心や応援する態度などを学びました。

そして、2学期、全クラスが合唱祭で、その成果をハーモニーとして表現します。このような経験が岸中生の誇りとなり、自信となって普段の学校生活や進路選択などに役立てられるのだと思います。さらにクラスの仲間の大切さや一人ひとりの頑張りを感ずることもできるのです。

また、3年生はいよいよ進路実現に向けた本格的な取組が始まります。不安や焦り等もあるかもしれませんが、誰もが経験する道です。大丈夫、自分を信じて下さい。そして目先のことにとらわれず、30年後の自分を想像した上で目標を掲げ、ゆったりとした気分で努力を重ねて欲しいものです。

そして、1年生も、2年生も、3年生も、皆さんはどんな時も決して独りではありません。

周囲の仲間や先生、保護者の方々や周りの人たちとたくさんおしゃべりをしながら、「実りの多い2学期」を一緒に創りあげていきましょう。生徒のみなさんの頑張りに期待します。保護者の方々、地域の方々、引き続き2学期も御理解御協力の程、宜しくお願い致します。

ひとりっきりで耐えねばならぬ季節には ひとりっきりで耐える強さを持つ……
草の芽たちは みんなそうして育った けれど 育ってみると独りではなかった
まわり中に 同じ強さを持つ仲間があふれ ありあまる若さで光り合っているのだ

ひとりっきりで咲かねばならぬ季節には ひとりっきりで咲く勇気を持つ……
花のつぼみたちは みんなそうして開いた けれど 開いてみると独りではなかった
まわりの中に 同じ勇気を持つ仲間があふれ 香り合う美しさで共に輝いているのだ

勇気に満ちた強い心 それが命を磨く 磨かれた命は仲間を呼び 仲間に出合い
はればれと生き抜く宇宙を そこにつくる

詩 宮澤章二 「独りではない」